



## 賀 正

メールアドレス: gvnc@nifty.com

ホームページ: <http://gvnc.eco.coocan.jp>

### ●主な活動の記録 (10月～12月)

10月3日(水) 自主活動 奈良阪元明天皇陵横県有地

6日開催予定のイベント”森林整備体験会”会場の整備のため、クラブ員8名が参加。草刈り、倒木・ツル等の処理を、区分分担を決めて実施。現場へは久しぶりに入るの、雑草や竹は伸び放題。草を刈ったあとから、あちこちで弾けたイガからクリが頭を出していた。どうやら昨年比しチョット出来が悪そうだが、当日は子供達がクリ拾いを楽しめる程度には落ちている模様。

10月6日(土) 森林作業体験 奈良阪元明天皇陵横

奈良市地球温暖化対策協議会と当クラブの共催による”里山の森林整備と森の恵みを楽しむ会”、9時半からの受付開始に備え、準備を進めていたところ雲行きが怪しくなり、雨に備えクラフト用シート2張をテント代わりに使い、プログラムの変更を検討。一般参加の親子連れ25名の受付を終えて、定刻に開会。本イベントの趣旨・予定変更についての説明の後、森の役割についての紙芝居、次いで、生ごみ処理のための簡易コンポストの紹介。続いては、子供達のお楽しみの一つバームクーヘン作りに取り掛かる。まず粉に卵を割り入れ、よく捏ねて生地づくり。これを火にかざした太い竹にかけ回す。しかし、残念ながら雨上がりに切ったばかりの竹を使用したためか、なかなかなじまず、一時中断し、後はスタッフに任せ、子供達は栗拾いへ。予め用意しておいた竹串を使ってのイガ殻からのクリの取り出し方法を説明し、皆はそれぞれ串をもって、クリの木の下へとちらばっていった。そこそこ袋を満たす程度に集まった頃を見計らい終了、イベント会場へ持ち帰り、早速大鍋で茹で上げ、自然の甘さを味わう。

昼食後、竹クラフト。本来は自分で伐った竹を使うところだが、午前中予定の竹伐り体験が出来なかったため、予め用意しておいた竹を使って、けん玉と知恵の輪くぐりづくりに取り掛かった。出来た子供から早速やってみたが、中々うまくいかない模様で、スタッフから遊び方の要領を説明。朝方の雨も上がり、足元の安全も確保出来そうなので最後に竹林に入り、竹伐り作業体験を短時間ながら実施。各家族単位にそれぞれスタッフがついて、安全作業方法を指導しながら、各自数本ずつ伐り倒した。一部は家に持ち帰った。これにて予定の行事を全てこなし解散。本日は、当クラブより11名と協議会並びに事務局のスタッフ多数がサポートした。



バームクーヘン作り



クリ拾い



けん玉づくり



竹伐り体験

10月13日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

本年度の新たな「緑の募金」助成事業、”モミジ谷の森林整備”第一回目、参加者20名、全員モミジ谷向かう。途中管理道で、先の21号台風の雨のため、法面が大きくえぐられており、道具を積んだ軽トラックが先に進めず、やむなく手前で降ろす。事業内容を明示した、手作りの看板を囲んでの集合写真。次いで、事業の目的範囲・作業内容説明、作業分担分けをし、道具を担いで現場へ。作業は、間伐・除伐を2グループで、他に数名が沢の兩岸の草刈り、女性を中心に皮むき。間伐のヒノキは結構背の高いものあり伐倒したものは管理道まで届く。搬出には好都合で、人力で引っ張り出したり、手に負えないのものは、チルホールを使った。4m程に玉切り、シイタケ銀行の柵として使うため皮むき。午後からの搬送に備え、一ヶ所に集め昼過ぎに作業を終了。

午後は、間伐材の搬送、シイタケ銀行の柵を間伐材を使って作り直し、女性は過日のイベント時使用した道具類の整理にと分かれての活動。

#### 10月27日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

同日、檀原で開催の下記エコフェスタ 2018 まほろばに、クラフト指導でスタッフを派遣していることもあり、本日の参加者は13名。

午前中は、追分本陣を登り切った”矢田山遊びの森の玄関口”とも言える国道308号線沿い工務店横で。竹林及び空地の草刈り・環境整備を行った。春にはきれいな花を咲かせたアジサイが大きく枝を延し、それでなくても狭い国道をより狭くしていたのを剪定、いくらか道幅が広く感じられるようになり、道全体が明るくなった。

昼食をはさんで午後、一部は「野鳥の森」の状況視察に、残りは前回塗料不足で、出来なかった交流館西側のベンチの塗装を行い、12脚のベンチを塗り終え、元気になったように見える。今年の野鳥の森の生育はあまりよくないとのこと。予定していたシイタケ銀行の柵の補修は、人手不足で次回に回すこととなった。けがもなく楽しい一日を終えることが出来た。

#### 10月27日(土) エコフェスタ 2018 まほろば クラフト指導

檀原市地球温暖化対策地域協議会が主催する、当イベントが今年も檀原文化会館前広場で開催され、これに協賛されている県中部農林振興事務所の要請で、クラフト指導としてスタッフ3名を派遣。木の枝など自然素材を用いたクラフト体験とパネル展示を行った。

前夜の雨が早朝に止んだが、風が冷たく寒く感じられ、来場者の出足は遅く、11時過ぎから少しずつ増え出来上がり見本を見て「まあ可愛い」と覗く親子、早速クラフトに誘導。全体的に小さい子どもは、ドングリにコナラの殻をかぶせ、それにボンドで動眼の目、楊枝の鼻を付けて、顔らしく見立てて置物づくり小学生は竹の輪切りで「小鳥の巣づくり」など、また高齢の女性はクヌギの殻となどで「熊」、松ぼっくりで「亀」、「狸」など作製、「子亀」をつくり、「親亀」の上に乗せる方もおられた。この日の参加者は125名(クラフト体験者90名、保護者35名)でした。



== 製作風景 ==

#### 11月7日(水) 門真市教職員組合退職者会との交流 矢田山遊びの森

同市で、子供達にサタデースクールの開校等、を中心に活動をされている同会のメンバー10名が、当地へのハイキングの途中、子ども交流館に立ち寄られて、クラブ紹介や活動に関しての意見交換を希望され、会計担当の辰巳が対応し開催。

まず、矢田山遊びの森の場所、規模、設備について説明。ついで当クラブ発足の経緯、当時の活動内容等を紹介。その後、予め作成しておいたPP画面で現在の事業内容等の補足説明、意見交換。最後に代表の岩出氏(個人でも、時々当地でハイキングを楽しんでおられる)が、今年の台風で木の枝が遊歩道に散乱していたのが、翌日には整備されているのを見ると、クラブの方の活動が良く分かると締めくくられた。皆さんは、芝生広場で昼食後、大和民族博物館へ向かわれた。

#### 11月10日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

本日の参加者14名。午前中、男性は「緑の募金」公募事業、”モミジ谷の森林整備を、二班に分かれて、ヒノキの間伐と搬出、雑木の除伐、枯損木処理を実施。女性は、シイタケ銀行に運び込んだ間伐材を柵の整備に使用するための皮むき。4mほどの間伐材、7~8本を軽トラで搬送中、道路の窪みで大きくバウンドしたはずみで、ロープ架けしていたが、荷崩れを起こし全て落下し、積み直すハプニングあり。

午後は、現在自主活動時に実施中の林野庁助成事業”森林・山村多面的機能発揮対策事業の一環として、刈払い機の点検・整備についての研修会を、クラブ員の小松講師の指導で行う。点検の重点箇所として、キャブレターとヘッド(刃の取付け部分)。キャブレターはカバーを外す前に、ごみの侵入防止の為、まずチョークを絞る、中のスポンジをガソリンで洗浄、もしくは古いものは、新しいものと取替。ヘッドは



グリースアップ。注入口からグリースを押し込むと、古いものが押し出され、これを拭き取り終了。



間伐作業



枯損木処理



橋の補強



研修会風景

11月24日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中、参加者14名全員でR308 榊原工務店より手前に向けて沿道整備。草刈り・姿の悪い雑木の除伐作業。利用出来そうなコナラ・クヌギはシイタケ銀行へ搬送。午後は運び込んだ材を、1メートル程に切り分け、井桁状に組んで仮伏せ、来春の植菌に備えた。女性は納会時の餅つきに備えての道具類の点検。この後、子ども交流館近くの遊歩道際の枯損木3本の除伐を行い、チェーンソーの整備点検を行い終了。解散後の定例役員会で、

- ・12月8日開催の総会の下打合せ。役割分担・議題・決算案等
- ・12月15日奈良北高校森林作業体験と環境教育・クラフト内容の検討
- ・12月22日納会・餅つきの打合せ
- ・新年会の開催、1月12日(土)定例の日の夕方5:00より、西大寺味楽座で。なおこの日の定例活動始めは午前中とする。

11月28日 環境出前講座 佐保川放課後子ども教室

同教室より依頼を受け、低学年50名にクラブ員4名が指導に当たった。先生・保護者合せて22名の多くがサポート頂いた。

まず、全員に森林環境教育として森のはなし、「皆さんは、森や山にいくとどう感じますか」と問いかけ「涼しい」との子がいたので、「それはなぜか」と問うと「木があるから」という答え、「森に行くと木が沢山あり、葉っぱが太陽の光をさえぎり、また水蒸気を出しているからだよ」と話した。

次いで、クラフトは4つの教室に分かれ、「モックン」と「モクマルくん」づくり。モックンはサクラ等の小枝の先を手動のエンピツ削りで先を尖らせ、マーカーで色をつけ、反対側につけたヒートンにリリアン糸をとおし、ペンダントに仕上げ。もう一つは桜の動眼をつけ、「人の顔」に見立てたペンダント。モクマルくんは、リョウブの輪切りに、小さな輪切りに、耳・鼻をついで動眼をつけ、顔に見立てたペンダント。材料は事前に持ち込み、予め先生方が各人の材料をセット頂いたものを当日配布したため作業は、おおむね順調に進んだ。ただ、グルーガンの使用は大人に限った為、順番待ちの行列が出来た。見本を参考に作っていたが、中にはひげをマーカーで書くオリジナル作品もあった。



== 製作風景 ==

12月8日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

師走の快晴のこの日、「リコージャパン」の社員ボランティア18名を迎え、クラブ会員の参加者19名と賑やかな活動となった。

午前中、「緑の募金」公募事業、「モミジ谷の森林整備活動」に全員参加。4班に分かれての森林活動体験各班会員リーダーの指導の下、ヒノキの間伐を体験。滑車を使ってのロープ架けをし、ノコギリで受け口追い口となれない説明を聞きながら伐木に挑戦。チルホールも体験。伐り倒した木は、枝払い・玉切りをし、シイタケ銀行の柵補修に使うため、遊歩道脇まで運び出した。リコージャパンの皆さんは、午前中で作業を終了。クラブ員は、第10回通常通常総会に臨み、一年の活動を総括し、新年度の方針を審議し、

原案通り承認された。加えて、理事会の活性化を目指し、若手会員の小野さんが新たに理事に選任された。この日、ケガで療養中だった内山さんが回復されて出席。総会の後、15日に行われる県立奈良北高校での森林作業体験と環境教育のための資材・道具類の準備をして終礼。次回定例は、この一年、楽しく活動出来たことに感謝し、餅つきを行います。



参加者一同



==間伐作業風景==



### 12月15日(土) 森林作業体験と環境教育 奈良北高校

恒例となった上記イベントを、同校にて開催。好天に恵まれたが、寒風に歓迎されたこの日、生徒50名、学校関係者並びに保護者の参加を得て、クラブ員10名で実施。グラウンドに8:45集合、校長先生もおいでいただき、担当の竹田先生の開始の挨拶、当クラブ副理事長奥村の挨拶と指導者自己紹介の後、参加者を5班に分け、ヘルメットを着用、道具を持って、班毎の作業地へ移動。クラブ員2名が各班について指導にあたった。各班、足回りの整備・ロープ架け・受け口・追い口など、作業の手順を説明。切込みが上手くいって、ロープの牽引で目指す方向へ伐倒出来ると歓声が上がった。この後枝払い、玉切りを体験、輪切りにして持ち帰るグループもあった。予定の作業終了後、場所を駐車場に移動、恒例の寒風に歓迎されながらのクラフト。今年も”良い年が来ますようお願いを込めて”竹や梅・松・南天等を使ったミニ門松作り、ユニークな作品も多くあって、予定の12時過ぎまで楽しんだ。この日、森林環境教育として渡した資料”地球はどれだけ熱くなっているのか”の出典は、

[http://www.shinrin-ringyou.com/ondanka\\_boushi/heikin\\_kion.php](http://www.shinrin-ringyou.com/ondanka_boushi/heikin_kion.php)



森林作業体験—間伐作業

==ミニ門松づくり==

### 12月22日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

生憎、前夜来の雨が残っていて、屋外の活動は中止。参加者24名と、日頃当地でランニングを楽しんでいる女性ランナー、お世話になっているので手伝いに、加えてイベント案内のチラシを見た一般参加者、5人連れの家族(3歳の女兒は、同じく当地で、元気に走り回っているひよこクラブのメンバー)を迎えて、午前中は、一年の無事な活動に感謝しての餅つきと、道具小屋の整理・道具の手入れとに分かれて活動。11時過ぎには、料理体験館より、一番臼をつく威勢の良い杵の音が響いてきた。二番臼からは、女兒とその2人の兄弟も加わり、元気な掛け声と共に、勢いよく杵を振り下ろしていた。昼過ぎには、皆で丸めた餅を、吸いものに入れたり、大根おろしをまぶしたり、また餡を包み込んだりして、味わった。今年の餅米は、理事の奥推薦の天理で、無農薬栽培されたもので、ことのほか柔らかく、伸びの良いものだった。子供達と時間のある者はミニ門松づくりを楽しんだ。お腹が膨らんだあと、皆で後片付け。残った餅をもらい、最後に来年も皆元気で活動に参加をお願いながら解散。



火の番



餅つき



ミニ門松づくり



作品